次世代の語り部が戦争の悲惨さを伝えます

次世代の語り部
定期講話会のご案内

講話の様子

実施日時

令和８年　10月 11日（日）　１３：００～１４：００

講話内容

講話1：『癒えない傷に耐えて』

戦闘で左脚を切断した戦傷病者の話をします。
義足をつけての訓練、同じ境遇の者にしか分からない苦しみ、戦後も続く傷の痛みなど、厳しい日常生活を耐え抜いた人生を紹介します。

講話2：『上肢障害で生き抜いた戦後』

戦争によって片腕を失った2名の戦傷病者の話をします。
片腕というハンディがありながらも、家族の支えや自身の努力によりさまざまな困難を乗り越えてきた姿を紹介します。

会　　場

しょうけい館　シアター
（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階）　※詳しくは裏面をご参照ください。

「次世代の語り部」のご紹介

次世代の語り部事業について

●戦後80年以上が経過し、戦争体験者の高齢化が進み、体験を語ることができる人がますます少なくなっています。そのため、戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世に語り継いでいく必要があります。
●当館では、2019年度から戦後世代を対象に、これら戦中・戦後の労苦を次世代に語り伝えてゆく「戦中・戦後の労苦を伝える次世代の語り部事業」を実施しています。

定期講話会について

●毎月1回、第2日曜日13:00～14:00に来館者に向けて定期講話会を実施しています。
予約不要、入退室自由です。お気軽にご参加ください。

語り部について

●語り部は、当館で3年間の研修を修了された20代～70代の方々です。
この方々ご自身は戦争や戦傷病者としての体験はありません。

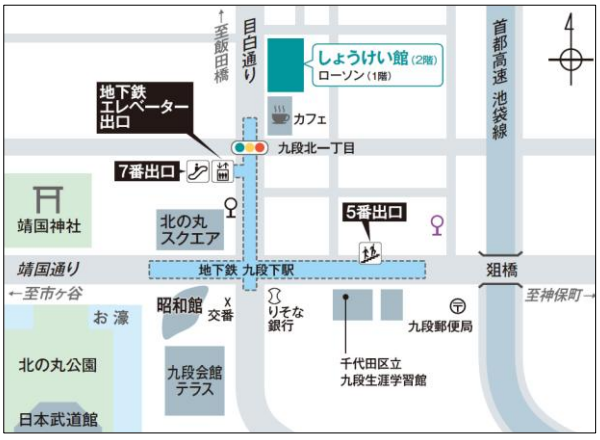
講 話 内 容

●講話内容は、「戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦」についてです。
●しょうけい館では、約200人の方々の証言を映像に収録してきました。
この証言者の体験を中心に当時の社会状況などを織りまぜながら、
写真やパネルを使って講話をおこないます。

ア ク セ ス

●地下鉄をご利用の場合
・九段下駅「東京メトロ（東西線・半蔵門線）」
「都営地下鉄（新宿線）」
7番出口より徒歩3分 、5番出口より徒歩5分

●バスをご利用の場合
・♀都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
・♀千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」より徒歩5分



お問い合わせ先

SHOKEI-KAN しょうけい館
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers,etc.

しょうけい館（戦傷病者史料館）
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階
TEL：03-3234-7821　FAX：03-3234-7826
Email：yoyaku@shokeikan.go.jp